

【自動車車庫その他自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設で一般公共の用に供されるもの】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	円一町駐車場	三原市円一町二丁目1834-47	駐車場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版, 2011年版)	Is=0.04 Is/Is0=0.066 q=0.17			1階から4階部分 耐震診断結果(詳細) Is0=0.6(発注者指定) X方向 塔屋 Is=0.76 q=0.92 4階 Is=0.28 q=0.63 3階 Is=0.17 q=0.37 2階 Is=0.07 q=0.30 1階 Is=0.05 q=0.23 Y方向 塔屋 Is=0.25 q=0.99 4階 Is=0.06 q=0.27 3階 Is=0.09 q=0.36 2階 Is=0.06 q=0.24 1階 Is=0.04 q=0.17

附表 耐震診断の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(抜粋)

別表2

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	II (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	III (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(3-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版, 2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

※別表1, 2の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については震度6から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる恐れは少なく、倒壊する恐れはない。

※別表2に掲げる耐震診断方法のうち(4-1)から(5-6), (11), (12)の方法における安全性の区分については、補正係数(表中のU及び $I_{s0}$ を算出する際に用いるU)を1.0とした場合を示している。

※※特記なき限り、地域係数 $Z=0.9$ , 補正係数 $G=1.0$ ,  $U=1.0$ として耐震診断されています。